



# いずみ

袖ヶ浦学園



## CONTENTS

|                |     |
|----------------|-----|
| お寿司パーティー       | 1   |
| ハロウィン          | 2   |
| 各班紹介・グループホーム 絆 | 3~5 |
| 職員コラム          | 6   |
| 職員・利用者の紹介、編集後記 | 7   |



## お寿司パーティー



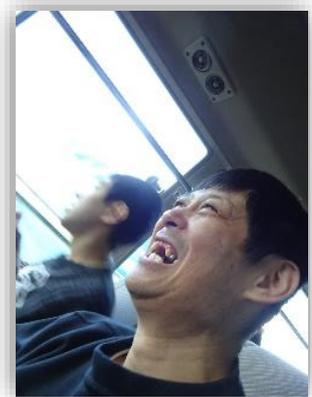
11月10日(水)に、お寿司パーティーを開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も秋祭りは中止となり、代替行事を検討中でした。秋祭りの中止を知った利用者様から、昨年度と同じお寿司パーティーが良いとの要望があり、それにお応えして開催にいたりしました。

今年度も、日清医療食品様のご協力で寿司職人の方を派遣していただき、本格的なお寿司を味わうことができました。お寿司のネタは全部で12種類あり、サイドメニューには筑前煮、唐揚げ、赤だしの味噌汁と、贅沢なお寿司パーティーになりました。そして、デザートにはパンプキンケーキをいただきました。普段食べ残しのある利用者様も、パクパクと頬張って完食されました。

また、施設から外出できない利用者様の気分転換を図るために、午前の部と午後の部に分かれてドライブをしました。車外に出ることはなくドライブをただけではありましたが、久しぶりの外出で喜んでいただけたように思います。秋晴れの大変気持ちの良い日でした。ドライブに出かけることができなかった利用者様には、カラオケ大会やDVD鑑賞を楽しんでいただきました。

来年は、新型コロナウイルス感染症が終息し、例年通り秋祭りが開催出来ればいいなと思っています。

荻込 雅弘



# ハロウィン

10月29日(金)に、当初の心配をよそに開催したハロウィンパーティーは、大変な盛り上がりでした。利用者の皆さまの多くが、「私も仮装したい」と積極的にご参加なさいました。また、配られたお菓子を無我夢中で口に頬張り、久しぶりのイベントに無言で楽しむ姿も見られました。施設の主役はもちろん利用者の皆さまですが、共にいる職員も楽しめるようにすることで楽しさは倍増するということを感じかされた一日でもありました。

このイベントが利用者の皆さまの気分転換や小さな思い出となれば幸いです。 森 克樹



## 各班紹介 Gメン班

## 安納芋



Gメン班では、今年度も安納芋というサツマイモの収穫をおこないました。5月に苗を作付けし、秋に収穫をすることができました。小さなものはおやつの時間に他班の利用者の皆さまと共に、美味しくいただきました。大きなものは新聞紙に包み、約2か月熟成させます。熟成を終えたら、焼き芋大会を開催する予定です。なかなか外出する機会のない中、屋外で行事をおこなえるので、Gメン班の利用者の皆さまも楽しみにされています。

安納芋という品種のサツマイモは、強い甘味としっとりとした食感が特徴です。生の状態でも糖度が16度程と高く、時間をかけて焼くことで糖度が40度近くにもなる品種です。倉庫で熟成中の安納芋に「美味しくな〜れ」と声をかけることも活動の楽しみの一つになっています。

白井 琢哉



## 各班紹介 チャレンジ班

## 配属となりました



11月からチャレンジ班に配属となりました、磯野と申します。8月から袖ヶ浦学園で利用者の皆さまの支援をさせていただき、早4か月が経ちました。さまざまなことを教わっている段階ではありますが、一つ一つ着実に習得し精進していく所存であります。チャレンジ班の皆さまに限らず、袖ヶ浦学園を利用する皆さまがよりよい生活を送れるようサポートしてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。 磯野 大介



## 各班紹介 ステップ班

## 食事会と芋掘り

10月は楽しい行事がたくさんありました。班で食事会をしたり、Gメン班が畑で育てた芋掘りをしたり、恒例行事のハロウィンパーティーがあったり、イベント続きでした。とくに芋掘りのときは、「楽しかったあ」との声がたくさん聞こえ、開催してよかったと、Gメン班の皆さまには大変感謝しました。

外出はもうしばらく我慢することになりますが、コロナが落ち着いたら、またいろいろなところに出かけて行きたいです。

片山 奈緒



## 各班紹介 にっこり班

## 美味しい食事会

10月28日(木)に、食事会をおこないました。メニューは、ハンバーグとチーズケーキです。利用者の皆さまからは「美味しい!」との感想が聞かれ、すべて残さず完食されていました。

新型コロナウイルスが終息したら、お弁当ではなく外食を計画し、マスク無しでお店の中で談笑しながら楽しく食事をしたいと思っています。

引き続き、感染症に注意して毎日を過ごしていく所存です。

西井 樹



## 各班紹介 ほほえみ班

## 体力増強

コロナ禍の影響で外出機会が減ってしまったため、ほほえみ班の利用者の皆さまの体力が少し落ちているのが今年の懸念事項でした。そこで、体操や歩行運動など身体を動かすことで、体力低下を防ぎ、利用者の皆さまがいつまでも健康に過ごしていただけるようにとくに気を遣ってまいりました。ときには、担当者ごと個別に食事会を設けるなどの工夫を重ねながら、モチベーションを維持していただき、この1年間、体力維持のための活動を維持してまいりました。

新型コロナウイルスも以前より落ち着き、ようやく保護者様との面会はできるようになりましたが、現在も外出はできない状況です。そんな中でも、ほほえみ班の利用者の皆さまは、笑顔で過ごしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

来年も、ほほえみ班の利用者の皆さまには十分な運動をしていただき、健康に過ごしていただきたいと思っています。笑顔にあふれた日々でありますよう、職員一同、精一杯真心の支援をさせていただきます。

赤間 大介



## グループホーム 絆

## 冬支度

秋にしては暖かな気候の中、「グループホーム 絆」は開所3年目を無事に迎えることができました。利用者の皆さまも変わらず元気に過ごされ、笑顔で袖ヶ浦学園へ通っていらっしやいます。

最近では朝が冷え込み始め、徐々に冬が近づいてきたと感じる日も多くなりました。気候に合わせた衣類を選択するようお声かけしています。暖房と共に加湿器を使用し、快適な生活環境を維持できるように注意を払いながら日々支援に努めております。

まもなく、利用者の皆さまと共にクリスマスツリーを飾りつけ、年末気分を味わっていただきます。クリスマス当日には、皆さまと大きなケーキを囲んでゆっくりと過ごしたいと思っております。

吉田 将人

上手に飾りつけることができました♪



## 職員コラム

## 我が家の末っ子



ある真夏の夜、兄がメスとオスの子猫を拾ってきました。2匹はとても小さく、とくにオスの猫は息をするのもやっとでした。母は、子猫を拾ってきた兄を責めていましたが、子猫用のミルクやキャットフードを買ってきた家族の中で一番熱心に看病をしていました。幸いにも2匹とも命に別状はなく、メス猫は「いろは」オス猫は「ほへと」と名付けられ、すくすくと育っていきました。

あれから9年が経ち、「いろは」は警戒心が強く、家族以外には寝顔を見せないツンデレにゃんこになりました。一方の「ほへと」は我が家に来て数日でじゃがいものような体格となり、「ポテト」と改名されました。今では太り過ぎて獣医さんからダイエットを勧められるほどです。どなたか良い猫のダイエット法をご存知でしたら、笠原までご一報をお願いいたします。

笠原 詩緒莉



## 職員コラム

## 鉢植え葡萄栽培



8年ほど前から、鉢植えで巨峰やシャインマスカットを育成しています。幼少の頃、母親の実家に遊びに行くとよく、庭にあるデラウェアをもいで食べていました。そのときの甘酸っぱい味は、今でも忘れられない思い出です。

鉢植え栽培のきっかけは、以前デイサービスの仕事で利用者様のお宅を訪問した際に、巨峰が鉢植えされていたのを見て欲しくなりました。鉢植えであれば、玄関先でもベランダでも場所を取らずに育成できます。自分で育てた甘くて美味しい巨峰やシャインマスカットを、食べたいときに食べられるので、ちょっとした贅沢と満足感に浸ることができます。ご興味のある方、ぜひお勧めです。

星野 洋一



## 新入職員紹介

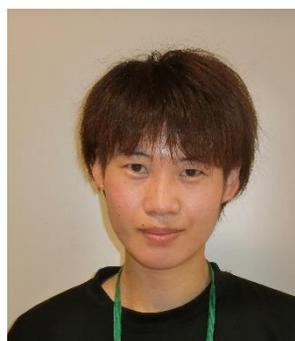
袖ヶ浦学園 <sup>たかはし</sup>高橋 <sup>ゆりえ</sup>友里恵 生活支援員



明るく元気に、利用者の皆さまに寄り添った支援ができるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

袖ヶ浦学園 <sup>せきね</sup>関根 <sup>ゆきの</sup>志乃 生活支援員

千葉県社会福祉事業団から出向



利用者の皆さまが楽しく、充実した生活を送れるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

## 入所者の紹介



11月1日に「袖ヶ浦学園」に2名入所されました。

齋藤敦雄様は、10数年ぶりの再入所です。山野ひとみ様は、千葉県袖ヶ浦福祉センターから移行されました。



### 【編集後記】

「ディズニーリゾートでハロウィンイベントをやっていたと思ったらもうクリスマス？」と、11月のとある日、時間の流れの早さにはっとしました。

袖ヶ浦学園でも、季節に沿った行事を提供していますが、現在はコロナ禍で外出の楽しみが制限されています。そのような状況下、改めて日本には、季節毎にさまざまな行事を楽しむことを再認識しました。しかし、そうしたイベントよりドライブを楽しみにされている利用者様の様子を見ると、一日でも早く、外出の制限解除を願うばかりです。

佐々木 朋美

[広報担当職員] 吉田(美)・笹生・佐々木

## 社会福祉法人いずみ会

〒299-0205 千葉県袖ヶ浦市上泉 1767-21 URL: <http://izumi-kai.com>

障害者支援施設 袖ヶ浦学園 ☎0438-75-4585 ✉izumikai@vanilla.ocn.ne.jp

相談支援センター 晴(ハル) ☎0438-97-5118 ✉haru-soudan@kind.ocn.ne.jp

グループホーム 絆(キズナ) 〒299-0236 千葉県袖ヶ浦市横田字北上堰 124-1

☎0438-97-7815 ✉kizuna7815@orion.ocn.ne.jp



@sodegaku